

就任のごあいさつ

工夫と創造で

躍動する町づくり

小野町長 穴戸 良三



町民のみなさま、三月二十三日に新しく小野町長に就任をいたしました穴戸良三です。

町民の幸せを第一に考えて、住みたい町、住んでよかった町といわれるような町を目指し、町民の目線で身近な町政を心がけ、行政と町民が一体となるような町政運営をしたいと考えております。

小野町を取り巻く状況は、三位一体の改革や地方分権等の推進等で地方交付税の削減や補助金の削減など財政的にもたいへん厳しいがあります。

また、市町村の合併など地方自治体の枠組そのものが大きく変わってきています。田村郡でも田村市が誕生し、田村郡は三春町と小野町の二町のみとなりました。

将来の小野町に向かって、従来の基盤づくりが最も大切と考えております。少子高齢化が進む中で、小野町の全体像を考えて、取り組むべき課題や方向性を一つ一つ解決し、決定していきたいと思っております。

子供たちが、伸び伸びと教育を受け、学力でも、スポーツでも、県下のレベルとなるように、基礎学力の向上や、就学前の幼児教育、あるいは教育環境の整備、子育て支援など、前向きに取り組んでいきたいと思っております。

雇用の安定や収入向上は生活の上で最も重要であります。企業の新規誘致や既存企業の支援に力を入れ、国県や商工会、農協など関係機関と連携を密にして、官民一体となって地域の産業振興に努めたいと思っております。

新たな地場産品の開発や農作物のブランド化など、夢のある産業振興が必要です。さらに農業の元気な町は、町そのものが元気になると確信しております。

また、TMOやNPO、ボランティア団体等、民間団体の活用や連携も産業振興だけでなく、いろいろと広範囲に進めるべきと考えております。

中心市街地の活性化や観光資源の充実など、商業地や住宅地

などの都市計画、福祉の充実など取り組むべき課題は山積しております。

町民の安心安全のためには医療や福祉の充実も欠かせません。特に地域医療の中核機関として公立小野町地方総合病院は大変重要であり、かつその充実を図ることは急務であります。

最後になりますが、町民の一人がこう言いました。

百歳でも元気に孫と遊び、山々は手入れが行き届き、田畑には

作物が実る。子供たちは元気に外で遊び、若者は目を輝かせ、勤労の喜びで大人たちは大きな声で笑っている。お年寄りも熟年も人生を楽しみ、また働いては社会に貢献する。町の隅々まで笑い声が響き、道行く人々は笑顔で挨拶をする。そういう小野町がいいなあ。

これから四年間、誠心誠意頑張りますので、よろしくお願ひ申し上げます。



3月23日初登庁

投票のもよう



三月十三日執行

選挙結果

小野町長選挙

穴戸良三氏が当選

小野町議会議員

補欠選挙

遠藤英信氏が当選

投票率は八六・九四%

(小野町長選挙投票率)

任期満了に伴う小野町長選挙・欠員に伴う小野町議会議員補欠選挙を三月十三日に執行し、結果は左表のとおりでした。

三月十四日には、森川徹選挙管理委員長より当選証書が付与されました。